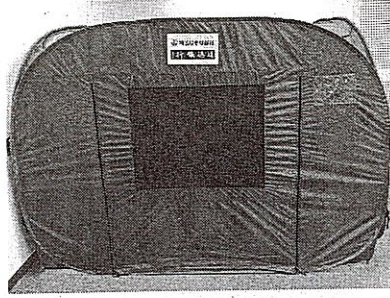


防災テントを配備 車脱出ハンマーも

埼玉りそな銀行
埼玉りそな銀行(さいたま市浦和区)は昨今の自然災害の頻発化を受けて8月下旬に屋内用プライベートテント130基を本部を含む全有人店舗に配備した。

全有人店舗に配備された防災用プライベートテント



この取り組みは内閣府が定める「災害発生時における大規模な帰宅困難者等の発生への対策に関するガイドライン」を受けたもの。被災者の一斉帰宅に伴う幹線道路の交

通渋滞などを防ぐため、勤務先などの「施設内待機」を推進する。

テントは川口市の繊維メーカー「サイボウ」社製。緊急時の着替えや授乳、体調不良者の一時的休息など人目を避けたい場面で活用し、ほかの被災地域への貸し出しも行う。

今月17日にはさいたま市の消防防災設備業「サイボウ」の緊急脱出用ハンマー約1100個を全社有車両に追加装備。同社の担当者は「命より優先される業務はないとの認識の下、今後もお客さまや従業員が安心できる環境の整備に努めたい」と話している。